

【想定訓練】①～⑨の多数箇所が発生している災害の状況を把握したうえ、消防救助活動を行う。

- ① 火災救助 (C塔)
- ② 高所救助 (A塔)
- ③ 火災救助 (ハイブリッド家屋)
- ④ 低所救助 (CSR訓練場東側排水柵)
- ⑤ 引上げ救助 (訓練場南斜面)
- ⑥ 交通救助 (訓練場東擁壁)
- ⑦ 倒壊建物救助 (CSR訓練場)
- ⑧ 土砂災害 (ハイブリッド家屋北側)
- ⑨ 長距離搬送 (訓練場南)



⑧土砂災害：土砂崩れにより通行中の車両1台及び通行人1名が巻き込まれている。重機は使えず人の力で土を掘り救出する。



④低所救助：地震により深さ約4mの排水柵に転落した1名を足場の悪い環境下で救出す

⑧土砂災害 ④排水柵

③火災救助：実火を使用した訓練。1階台所から出火、取り残された1階と2階の要救助者1名ずつを救出する。



③ハイブリッド家屋 ⑦CSR訓練場

⑦倒壊建物救助：地震により倒壊した共同住宅に取り残された2名を救出する。



②高所救助：地震により屋内階段が崩落、3階に取り残された歩行不可の2名をはしごを使用し救出する。



②A塔

①火災救助：2階から出火、2階に1名取り残されている。人命救助最優先の活動から火災鎮圧までの消火活動を行う。

①C塔

⑨長距離搬送：地震による土砂崩れ、現場は車両通行不可のため、歩行不能の要救助者1名を担架収容し、指定された動線にて動揺なく安全な位置まで搬送する。



⑨訓練場南

現場指揮本部



⑤引上げ救助：地震により除草作業中に1名が滑落。自然の地形の中で、編みロープを使用し救出する。



⑤南斜面

⑥交通救助：擁壁に衝突した車両1台、車内に1名挟まれている。車両の安定化から、要救助者の社会復帰を考慮した救助活動を行う。



⑥東擁壁